学校番号	２１５

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	保育基礎	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「保育基礎」　（実教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

人の発達において、乳幼児期は人格形成の最も大切な時期であるということを理解し、保育の意義について学び知識を身につける。
学んだ知識と技術を総合的に活用し、子どもの発達段階や年齢に応じた作品を作成する。
授業のなかで取り組む作品は、子どもが喜ぶ姿を想像しながら完成させることが重要である。

2　学習の到達目標

家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ，実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して，保育を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
「知識及び技能」
保育の意義や方法，子どもの発達や生活の特徴及び子供の福祉と文化などについて体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。
「思考力、判断力、表現力等」
子どもを取り巻く課題を発見し，保育を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
「学びに向かう力、人間性等」
子どもの健やかな発達を目指して学び，保育に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	知識を自分のものとしているか。 進んで実習に参加し、レポートを記入し、知識・技術を自分のものとしているか。	課題レポートの完成度。 実習課題の取り組みとレポートの完成度。	進んで授業に参加しているか。 学習プリントを記入し、知識を自分のものとしているか。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	子どもの発達の特性	子どもの発達と条件 保育の必要な発達観 紙芝居作製 幼稚園実習	a:進んで授業に参加しているか。学習プリントを記入し、知識を自分のものとしているか。 紙芝居作製の内容充実度。 b:実習で園児との交流がとれているか c:園児との交流で学んだことが生かせているか	プリント レポート	実習 レポート	作品の完成度 実習の取り組み
	子どもの発達の過程	胎児から乳幼児までの身体的発育の特徴 子どもの精神発達の特徴と人間関係の発達 紙芝居発表 絵本作製 幼稚園実習	a:発育の特徴が理解できているか b:発達に適応した絵本の内容を考えられているか c:子どもの特徴を理解したうえで絵本の内容を考え作製できているか。	プリント レポート	実習 レポート	作品の完成度 実習の取り組み
2学期	子どもの生活	子どもの生活と健康管理 子どもに必要な栄養とバランスのとれた献立 絵本作製 保育園児とのお茶会交流	a:子どもの健康管理について理解できているか b:子どもの栄養面について考えられているか c:実習などで積極的に子どもたちとの触れ合いを楽しめているか。	プリント レポート	実習 レポート	作品の完成度 実習の取り組み
	子どもの保育	家庭保育と集団保育の違い	a:家庭と集団での保育の違いについて理解できているか b:　保育者の役割と指導のポイントが理解できているか。	プリント レポート	実習 レポート	
3学期	子どもの福祉	児童虐待の現状と予防 子育て支援の課題 パズル作製	a:虐待の現状が理解できているか b:虐待の課題解決について考えられているか c:虐待の現状を理解し、これからの子育て支援の課題について考えられているか	プリント レポート	実習 レポート	作品の完成度 実習の取り組み

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度